



## いせじんぐうないくう 伊勢神宮(内宮)

二聖地巡拝鍊成で最初に参拝するのが伊勢神宮です。

三重県伊勢市にある伊勢神宮は、正式名称を「神宮」といいます。私たちは普段から地域の氏神様へ足を運ばせていただきますが、伊勢神宮は日本人の「總神」として崇められ、全国から毎年多くの人が訪れています。天照大御神を主祭神とする皇大神宮(内宮)と、豊受大御神を主祭神とする豊受大神宮(外宮)を中心として境内や周辺にある別宮・摂社・末社など、あわせて一二五社もの宮社の総称でもあります。ここでは年間一五〇〇回にも及ぶ祭事が毎日執り行われており、今日までずっと変わることなく、御皇室の弥栄と日本の平和や繁栄、そして国民の幸せと五穀豊穣が祈られています。巡拝鍊成では、外宮と内宮をそれぞれ参拝させ

ていただきますが、今月は「内宮」について学びましょう。伊勢市内を流れる五十鈴川のほとりに建つ内宮は、今からおよそ一〇〇〇年前に現在の地にご鎮座されました。主祭神である天照大御神はその名の通り、天から照り輝く太陽を司る神様です。人間を含め、地上に存在するすべての生き物は、太陽の光がなくては生きられません。私たちも日々、太陽に育まれた命の恵みを頂き、生かされています。こうした恩恵を頂きながら今日までの命があるのは、天照大御神のお蔭に他なりません。また、天照大御神は御皇室の大先祖にあたる神様(祖神)であり、私たち日本国民も遡れば遡れば誰もが天照大御神につながります。日本人すべての大御祖神であり、天照大御神がいなければ、この世に生まれてくること

はできなかったのです。たとえば、あなたが美味しいものを食べて幸せだと感じたり、友達と一緒に遊んでいて楽しいと思つたりで生きるもの、天照大御神から頂いた命があるからです。

ある天照大御神を祀る内宮に赴き、命を頂いたことに御礼を申し上げることは、人として当然の礼節です。参拝にあたっては、命を頂き、日々生かされていることに対して、心からの感謝を述べさせていただきましょう。そして、ただ御礼を申し上げるだけではなく、自分自身が頂いた命を世のため人のためにお使いいただけるように、より一層の努力をすることをお誓いさせていただきましょう。

◎内宮に参拝した際にお誓いする内容を皆で話し合ってみよう。